



春の彩りはなまつり

表紙写真は、峰山町の岡田良博さんにご提供いただきました。

3月議会

- ◆当初予算・付帯決議 2~4
- ◆予算審査分科会 5~7
- ◆会派の意見 8~9
- ◆補正予算 10
- ◆条 例 11
- ◆議案に対する議員の賛否一覧 12
- ◆市政を問う 13~17
- ◆陳情・市民と議会の懇談会の報告 18
- ◆市政へのご意見・ご提言 19
- ◆市民の声・あとがき 20

平成24年度予算案を一部修正し可決

市長・市議会議員選挙を控えた

『骨格型』予算

3月定例会

平成24年3月定例議会は、2月27日開会し3月23日閉会までの26日間を会期とした。

新年度の予算は、市長・市議会議員選挙が予定されているため、経常的・継続的の事業を中心とした『骨格型』の予算編成となっている。

一般会計予算の総額は、306億3000万円。前年度比2%の減額で賛成多数で可決し、そのうち集落支援事業の地域サポーター設置に係る予算について、議員提案による修正の減額案を賛成多数で可決した。

審査として、平成24年度一般会計予算及び平成23年度補正予算などの議案59件と議員提案4件の上程があり、本会議、各常任委員会、予算特別委員会で審査し、条例案30件、予算案29件、その他4件を可決、同意した。

予算修正案可決

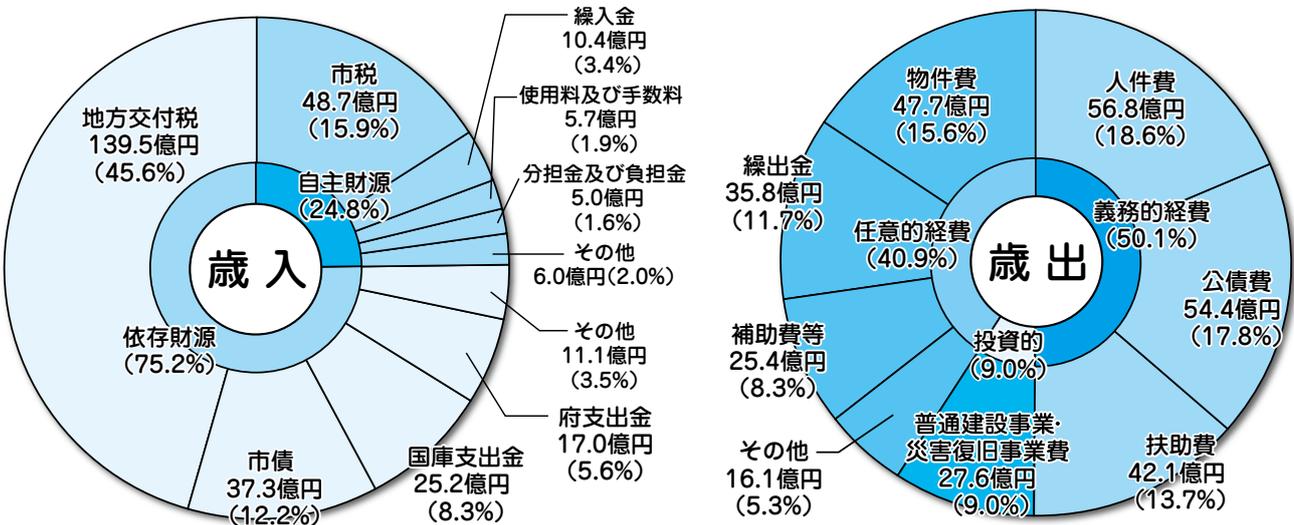
平成24年度一般会計予算案のうち、以下の事業について、修正案を提出し可決した。

集落支援事業の地域サポーター制度について、予算連合審査を踏まえ、サポーターの役割や支援のあり方など昨年に行っているモデル事業の十分な検証を求め、6地域から現行の2地域での予算に減額し、減額分を予備費に計上する修正をした。



地域サポーターの事例報告の様子

◎グラフで見る予算 一般会計当初予算総額



総合計画との整合性を図った予算編成と主な事業

第1次京丹後市総合計画・後期基本計画に掲げる将来像
「ひと みず みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち」実現に向け、引き続き事務事業を実施

I 交流経済都市（にぎわい創出プロジェクト構想）

- ①地域雇用環境整備特別対策事業8830 万円
現下の雇用失業情勢にかんがみ、京都府緊急雇用対策事業費を活用し、非正規労働者・中高年齢者等に対して、短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業
- ②「くらし」と「しごと」の寄り添い支援センター2240 万円
現行の支援制度を受けられない方を対象に、自立できるよう包括的・継続的に支援するため設置
- ③新規就農総合支援事業補助金300 万円
- ④猟銃購入費補助金70 万円
- ⑤「山陰海岸ジオパーク」を生かした観光推進1070 万円
- ⑥工業用地造成事業特別会計繰出金1 億 9580 万円

II 環境循環都市（環境先進都市推進プロジェクト構想）

- ①新火葬場建設の設計3120 万円

III 健やか安心都市（安心ネットワーク形成プロジェクト構想）

- ①子宮頸がん等予防接種費用の給付7260 万円
子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種の助成
- ②子ども医療給付1 億 4080 万円
- ③生活保護面接相談員・受給者支援員等設置経費480 万円
- ④身体・知的障害者相談員の設置60 万円
- ⑤病院事業会計繰出金8 億 4300 万円

IV 生涯学習都市（学びのミュージアム推進プロジェクト構想）

- ①放課後児童健全育成事業1 億 1670 万円
- ②子どものための手当9 億 8840 万円
- ③スクールサポーターの設置（幼稚園・小学校・中学校）1 億 140 万円
- ④久美浜中学校の増改築2 億 8550 万円

V パートナリシップ都市（パートナーシップ推進プロジェクト構想）

- ①市民力活性化推進プロジェクト事業補助金650 万円
- ②犯罪被害者等の支援40 万円
- ③地域振興交付金1 億 2440 万円
- ④地域振興基金積立金5 億円

VI うるおい安全都市（快適・安全・交流都市形成プロジェクト構想）

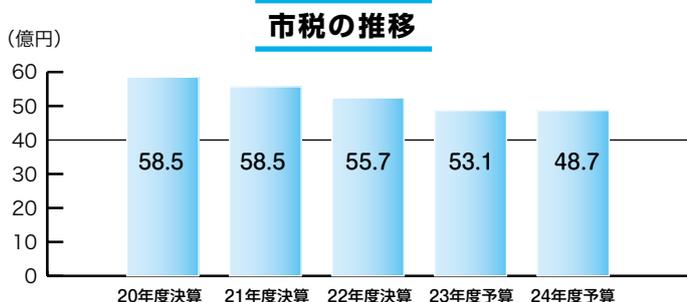
- ①水洗化推進支援事業補助金1500 万円
- ②東日本大震災災害支援活動補助金300 万円
- ③公共下水道事業特別会計繰出金8 億円
- ④社会資本整備総合交付金事業2 億 7820 万円

VII 計画推進のために

- ①合併特別措置逓減対策準備基金積立金5 億円

◎市民1人が納める市税 (法人住民税含む)の額

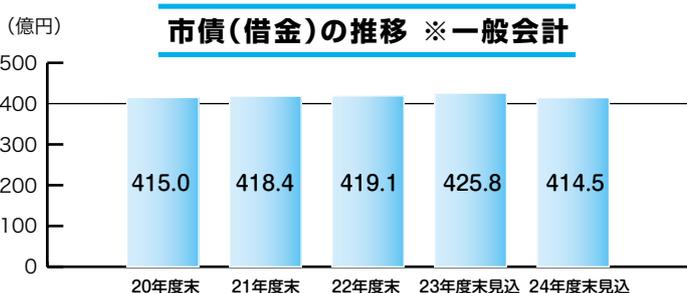
平成24年度予算 **約8万円**



企業誘致が待たれる森本工業団地

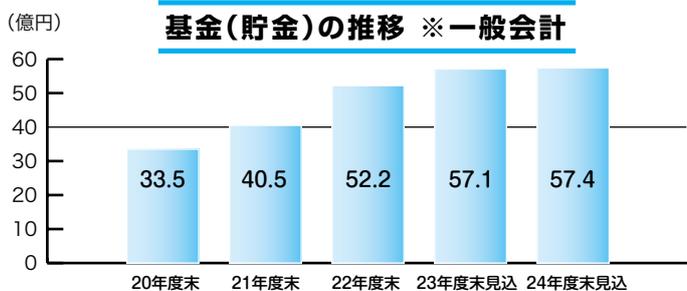
◎市民1人あたりの借金(市債)の額

平成24年度末見込 **約68万8000円**



◎市民1人あたりの貯金(基金)の額

平成24年度末見込 **約9万5000円**



※上記の市税、市債、基金における市民一人あたりの額については、平成24年あたりの額については、平成24年3月末現在の人口により見込みとして算出。

討論

一般会計

京丹後市の経済が疲弊する中、市民の生活や営業が苦しくなっている。経済の柱である商工業振興では、職業能力向上支援事業や商工会助成事業等の一律補助金7%カットや起業家支援事業補助金の2年から1年への短縮は大きな問題である。森本工業団地について、完成後1年半経過しても企業誘致

も、仕事起こしや不況対策は緊急課題であり、要望の強い住宅リフォーム助成制度など積極的な予算が求められている。くらしとごとの寄り添い支援事業は、国の支援がなくなるが、今後どうなるのか。地域経済と市民の暮らしを守ってほしいという願いに答えることができない。

ができず展望がひらけていない。工業用地造成事業特別会計繰出金は、1億9500万円と大きな負担となっている。骨格予算とはいっても、仕事起こしや不況対策は緊急課題であり、要望の強い住宅リフォーム助成制度など積極的な予算が求められている。くらしとごとの寄り添い支援事業は、国の支援がなくなるが、今後どうなるのか。地域経済と市民の暮らしを守ってほしいという願いに答えることができない。

一般会計予算に関する付帯決議 可決

■決議内容

東日本大震災災害支援活動補助金については、ボランティアの位置づけを明確にするとともに、活動費の補助対象に関してはボランティア精神の観点から一定整理する必要がある。

今後の災害等支援活動の内容については、行政が主体となつて広く市民に呼びかけた活動を行うよう、新体制で改めて検討することを求める

～ 予算を3つの分科会で審査 ～

総務分科会

ケーブルテレビの番組について検討は

地域サポーター事業の拡充は時期尚早

消防団の再編への取り組みは



人員確保、再編が望まれる消防団



ケーブルテレビのさらなる充実を

集落支援事業「地域サポーター」の拡大について

問 サポーター2名でのモデル事業が今回4名の増員であるが、現状で業務の範囲・基準も不明確であり、1年経過で成果、効果の検証ができるのか。

答 1年で成果が出るものではないが、サポーターの活動を見て、区長会も本事業が重要と認識され、モデル地域以外の4つのまちもそれぞれの課題がある中で、スタートしようということである。

ケーブルテレビの自主放送について

問 自主番組について、今後どのようにしようと考えているのか。

答 委託費の増額により、番組本数を増やす。地元スタッフのスタジオ常駐化で体制を強化して、放送までの期間を短縮する。また、わかりやすい行政情報、イベント等の情報提供に字幕放送の活用に取り組む。

消防団の再編、自主防災組織について

問 消防団の再編、自主防災組織との連携について今後の見通しは。

答 団員の確保、自主防災組織の関係等、分団それぞれに再編が難しい部分もあるが、消防団の意見も聞き25年度に方針をつくり、26年度から進めていきたい。地域の理解も必要である。

分科会の主な意見

- 蒲井・旭地域振興計画に関し、事業の進捗管理はしているが総括は出来ていないということであり総括が必要。
- 「FMたんご」について、聴取可能世帯が70%であるが、できる限り多くの世帯で聞けるように検討すべき。

- ブロードバンドネットワーク運営事業で、加入率の向上による収支の均衡は評価するが、一層の努力も必要。
- 地域サポーターは、2ヶ所での試行を全市に拡大する提案であるが、業務範囲が不明確であり、1年で成果が検証できたとはいえず時期尚早である。
- 東日本大震災支援活動の補助金は、東日本に限定せず他の被災地、災害以外への支援活動にも適用すべき。

文教厚生分科会

島津勤労者とこどものセンターを
島津保育所代替施設に

教育委員会は体制を見直し、
指導主事2名を減員

久美浜病院は院内保育所を整備し、
定員を増員



学校再配置の中で閉校となった三津小学校



島津保育所代替施設となる勤労者とこどものセンター

就学前教育の充実へ

問 指導主事を2名減員し、非常勤職員1人増とは。

答 指導主事は週4日、学校現場へ専門的な指導を行っている。今回の人事は、小中一貫教育を進める事や学校再配置事業が始動したことから、体制の見直しを図った。また、幼保一元化の取り組みや就学前の充実を図るためである。

島津保育所代替施設を区事務所と共同利用

問 勤労者と子どものセンターの利用方法は。

答 保育所は、2階部分と1階の調理室を使用し、1階の事務室、会議室等は共同で利用する。保育所職員室は2階に設ける。利用予定期間は5月から9月初旬を予定している。また、保育所の代替施設として改造して利用することから、利用期間終了後に現状に復旧する。

久美浜病院 患者搬送車購入 院内保育所移設整備等に1億5680万円

問 久美浜保健センターを病院が使用するのはなぜか。

答 研修医、スタッフが増え、会議室や駐車場などが不足していた。社会福祉協議会は市民局に移動しており、4月から会議室、院内保育所など有効に活用したい。現在の院内保育所の定員は10名だが、20名まで増員する予定である。

分科会の主な意見

- 健康大長寿の里づくり全国大会で有名人を呼ぶのもいいが、高齢者の活動を紹介する等検討が必要である。
- 障害者の支援は、制度をわかりやすく知らせる仕組みづくりが大事である。

- 健康づくり推進員は区長推薦であり、報酬の一時的な減額は、京丹後市のまちづくりの大原則に反している。
- 放課後児童クラブの施設は、耐震化の取り組みがされていない。早く耐震診断、耐震化を進めるべき。
- くらしとしごとの寄り添い支援センターは、国の制度が24年度で終了するが、継続を求めるべき。
- 小中一貫教育推進事業では、メリットとデメリットを明確に示すべき。

産業建設分科会

市道の管理体制は維持できるのか

人・農地プラン（地域農業マスタープラン）始まる

山陰海岸ジオパークをどういかに推進していくのか



市道を補修するパトロール作業員



ジオパーク認定による効果は

地域農業の将来像は

問 農地集積総合対策事業の「地域農業マスタープラン」の内容は。

答 集落等における、地域農業の将来像としての農業経営体や農地の集積計画等を定める「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」を作成する。農業を完全にやめる人に経営転換協力金が交付される。

市道の維持管理体制の強化を

問 市道の道路パトロール作業員が6人から4人に減員されたが安全確保に支障はないのか。

答 2人はもともと工業団地関係であったため、支障はない。23年度までは国の雇用対策事業で実施してきたが、24年度は市の単独費で計上した。

山陰海岸ジオパークの認定による効果は

問 山陰海岸ジオパーク認定の周知はできているのか。

答 ジオパーク事業全体の予算は増額になっている。市民、観光業者への周知が不足している。24年度は、散策ルートや案内看板、DVDの制作、新商品の開発に取り組む。

分科会の主な意見

- 地域農業マスタープランは、新規就農も含めて持続可能な農業の推進に大きな可能性を秘めている。
- 地域農業マスタープランは、家族経営農家を廃業に追い込む施策である。

- 道路パトロールは評価するが、道路補修はガスバーナーを使わないと持ちが悪い。有資格者の配置と道路補修の専門車両の配備も必要。
- ジオパーク推進事業は、それぞれのジオスポットに対応した散策コースを整備する必要がある。また、体験してもらうことが重要で、具体性のあるものに対しては民間のノウハウを積極的に活用すべき。

日本共産党 [今こそ、くらしと福祉・経済の再生を]

地域経済は疲弊し、1人あたりの市民所得は187万円、府下平均の3分の2と最低水準です。住民から、「消費税増税10%では、商売が出来ない」「周辺部が寂れて、元気なのはイノシシやサルだけ」「仕事が無く、若いもんに帰ってこいと言えない」と、くらしの叫びが寄せられ、お年寄りに「生きることより死んだ方が楽になる」こんなことを言わせる政治の転換が求められます。

住民の苦難解決に京丹後市がどう向き合っているのかが問題です。相次いで公共料金を引き上げ、市民局の縮小で周辺部を衰退させるなど格差と貧困を広げてきました。

その一方で、森本工業団地の造成に26億円を使い、企業誘致できずに借金と利息が大きな負担になっています。

昨年12月議会では、「大幅な値上げをしないでほしい」という市民の声と運動が、議会を動かし値上げストップを実現しました。道理ある要求こそ政治を動かす力です。この方向にこそ京丹後市の未来と展望があります。

党議員団は、住民のくらしに立ち位置をしっかりと置き、声を届け市政をチェック、くらしと福祉・経済再生のために力をつくします。

公明党 [平成32年度問題を議論し、京丹後の未来像を]

平成24年度の一般会計予算は、市長選挙があることによる骨格予算であり、一部修正や決議があったものの財政的に大きな問題ではない。新たに選ばれた市長により、6月定例議会に提出される条例や補正予算のなかで中長期的な政策議論を深めていきたい。

合併による財政メリットは地域振興や社会資本等の整備の財源確保するための合併特例債と基準財政需要額の合併算定替の期間延長である。

合併特例債は、限度額約356億円のうち約104億円を使っているが、期限の26年度までに何にどこまで利用するのが明確になっていない。なお、防災

計画の変更などによる施設整備計画の見直しにより5年間延長が閣議決定されている。

普通交付税は、平成23年度で約130億円であるが一本算定で見ると約99億円。現在の試算では平成32年度には、約31億円の減少が見込まれるところである。

よって、平成32年度に向けて、社会資本の整備、住民サービスの費用対効果等を全市民的に考える時期にきているし、そのことなくしては、持続可能なまちづくりも地域の発展も無いと考えている。

政和会 [心配される合併特例終了後の財政状況]

平成24年度の一般会計当初予算は、市長が改選期を迎えることから、政策的な施策を控えた骨格型の予算になった。

本年度予算は、306億3000万円で前年度より6億3500万円の減である。骨格型予算でも300億円を切ることができなかった。

平成26年度までは、合併算定替により交付税の額が保証されているが、それ以後5年間で段階的に縮減される。

市の建設計画に基づく事業や、基金の積み立てで借入を起こした場合、合併特例債が使えなくなることから、今後の行財政運営は、危機感を持って事業

の見直しを進め、歳出削減に取り組まなければならない。保育内容の充実は図られてきているものの、合併以来8年間で、人口は6千人も減少している状況である。人口流出を食い止めるための経済振興策や、少子化対策に惜しみなく投資し、市民にとって効果の薄い事業は、縮減や廃止も決断していく強い姿勢が求められる。税や公共料金の値上げが目立つが、そこに行き着くまでの市側の努力姿勢が、市民には見えないのが残念である。

平成23年度
一般会計補正

9億3310万円を追加

〔全員賛成で可決〕

大雪対策に2億7750万円

昨年が続く大雪に伴い、除雪費に2億4290万円追加し、雪下ろし等緊急支援補助金300万円、雪害支援緊急対策支援事業補助金3160万円。

除雪事業への質疑

問 除雪対策費用は、今までいくら使い、昨年比ではどうか。

答 委託料は2700万円です。昨年並みである。

出勤日数は8日で、途中から排雪作業も行っている。



昨年が続く大雪、市民生活に影響

雪下ろし等緊急支援への質疑

問 市の制度と社協の制度があり、利用する上で混乱が起きている。

答 昨年の事業と内容が変わり、調整が不十分であった。来年は調整していく。

問 区長への通知の遅れや制度がわかりにくく、補助対象となる人の情報がない中で区長は対応に苦慮されている。

答 65才以上の世帯として本人申請を基本にしている。実際の運用で支障があつてはならない。わかりやすく使いやすい制度へ改善していく。

雪害支援緊急対策支援への質疑

問 パイプハウスの被害状況と復旧への補助要件は。

答 補助要件は、全壊、大破、中破が対象になる。81棟の被害報告があり、その内ビニールが破れた43棟は、小破で補助対象にならない。

問 茶、果樹の雪害はどうか。

答 茶については、昨年と同程度の予算としている。果樹では、梨が2・4ヘクタールの大被害が出ており、対応を協議している。

KTR経営対策
基金拠出金
2900万円追加

問 KTRのあり方検討会は怎么样了っているのか。

答 各検討チームで利用促進を拡大していく方向で検討をすすめている。経営や配分をどうするのかについては、24年度に入ってから検討していく。車両の冷暖房の整備などが予算化されている。

防災行政無線
施設整備事業
4億1380万円

問 いつまでに整備を終えるのか。2台目の戸別受信機を付ける場合の負担金はどうか。

答 丹後町のアナログの設備をデジタル化する事業で整備完了は、25年3月。受信機はこれまでと同額である。

小学校施設耐震
化事業
2億6300万円

大宮第二小学校校舎、大宮第三小学校体育館、吉野小学校体育館、田村小学校体育館の耐震化工事の管理業務委託料と工事請負費。



耐震工事予定の大宮第二小学校

犯罪被害者支援の ために条例制定

犯罪被害に遭ったことにより、様々な支援が必要となる犯罪被害者等の支援に関して、市及び市民等の責務や、その支援のための施策の基本となる事項を明らかにするための条例の制定

具体的な支援策

- ・相談窓口と庁内会議を設置
- ・見舞金の支給（遺族見舞金30万円、傷害見舞金10万円）
- ・市有の住居の提供

問 この条例を制定する必要性はどうか。

答 安全安心なまちづくり条例に基づいて、その具体策として条例の制定が必要である。

問 住宅の提供とあるが、どのように考えているのか。

答 市所有の住宅での対応を考えている。

【全員賛成で可決】

介護保険料の 大幅値上げ

介護保険事業（平成24年度～平成26年度）に要する費用に充てるため

に基準額でみると20・3%の値上げ。

反対討論

- ・保険あつて介護なしと言われてきている中で値上げされる。
- ・年金から保険料が天引きされるので生活に直接響いてくる。
- ・この制度を安定させるために国の負担部分の増額を求めるべき。
- ・市民への大幅な負担増となる。

賛成討論

- ・介護施設整備は、府内でもトップクラスである。
- ・施設整備の健全な維持と充実、サービスクラスを維持するためにも値上げは仕方ない。
- ・値上げ後でも府下で2番目の低さであり、基金の取り崩しをはじめ保険料の抑制策を評価する。

【賛成17反対4で可決】

議員提案を否決

来期の議員報酬

6万円引き下げを提案

市の厳しい経済状況、社会状況を考え、来期の議員報酬を6万円引き下げ、月額32万円にする条例。

主な質疑

問 議員報酬が高いと思う人は、前

回（平成18年）のアンケートより23%増加して61%となっているが。

答 市内の経済状況が一層厳しくなっているからであろう。

問 来期の議員報酬をなぜ今決めなければならぬのか。

答 議員は、市民の代弁者として今決める必要がある。

問 議員はボランティアではない。若い人も議会に出ることができ、生活のできる報酬が必要ではないのか。

答 報酬であつて、生活給ではない。

反対討論

今の議会であれば、市民に対して仕事をしてもらえるかどうかの不满から、報酬が高いと思われるが、議員報酬についてはもっと市民に満足してもらおう議会になるかどうかである。

条例としての議員報酬については、報酬審議会の答申を尊重すべきであつて、経済状況の変化に合わせて時限的に報酬カットで対応することのほうが、その時々状況にマッチする。

賛成討論

議員年金制度がなくなり不要となつた年金掛金相当額6万円は、市民の生活や経済政策の財源として市

民に還元することが妥当である。市民の61%の人が、議員報酬は多いと思つている、市民の声は無視できない。議員自ら身を削り、市民から信頼される議員となる契機とすべきである。

【賛成8反対11で否決】

来期の常任委員長 手当5000円

来期から、委員長手当として月5000円を支給。

【全員賛成で可決】



議場での審議の様子

議案に対する議員の賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては全員賛成で可決されました。

会派名 議員名 案件	議案の可否	丹政会						清風クラブ					日本共産党				政和会		公明党		同志会		
		志水一洋	中西定征	森口亨	岡田修	三崎政直	足達昌久	松尾信介	谷口雅昭	中村雅	吉岡和信	松本経一	行待実	松田成溪	田中邦生	森勝	平林智江美	川村博茂	大下倉禎介	松本聖司	由良尚子	吉岡豊和	奥野重治
市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×
税条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	○	
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	否	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	欠	○	○	○	○	×	○	欠	×	○	○		
平成23年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	辞職	
介護保険条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
平成24年度一般会計予算(修正案)	修正部分	可	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	修正部分以外	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
平成24年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
平成24年度介護保険事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
平成24年度工業用地造成事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
久美浜町河梨区大カシ谷開発に関する陳情書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×		
消費税率10%アップと社会保障の切捨て中止を求める陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×		
介護保険料負担軽減と介護保険制度の充実を求める陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×		
平成24年度一般会計予算に関する付帯決議	可	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※○:賛成 ×:反対 欠:欠席 退:退席 池田恵一議員は議長職のため表決権はありません。

3月定例議会一般質問

市政を問う

～ 議会を傍聴しましょう!～

京丹後市議会

検索

<http://www.city.kyotango.lg.jp>



一般質問を3月9日、12日の日程で行い、9人の議員が質問し、市長や教育長に答弁を求めました。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市ホームページの「京丹後市議会コーナー」で配信していますのでご覧ください。

政和会 大下倉禎介

森本↓豊岡間の自動車道
着工の見通しは

市長
森本↓網野間は法線が決定、
網野↓豊岡間は
未調査区間である

問 兵庫県の中国道と播但道↓八鹿は25年に開通。八鹿↓豊岡南は30年度以内に開通予定。福井県小浜↓敦賀は26年度開通予定である。近隣県からみると、自動車道がない京丹後市は陸の孤島である。自動車道整備は遅れているが。

市長 近隣市町と協議会を設置し、国と府へ要望を行っている。

問 原発集中の福井県に近い本市は、原発に対する安全対策が必要。そのためには隣接県、市町と連携、自動車道ネットワークが重要である。本市の経済閉塞感の払しょく、地域産業振興に大きく寄与する、市民の長年の夢である、森本↓豊岡の自動車道完成に最大限努力するべきでは。

市長 今後大震災、原発への安心安全対策も含めて要望を行う。

問 丹工の遊休地活用として、府と市に対して工場誘致を求めてきたが、実現は難しい。現在2ヶ所の遊休地合計7万4000㎡固定資産税年間713万円で、大きな負担となつて

いる。固定資産税軽減策として、太陽光発電施設等の活用について、本市の指導、援助をお願いしたいが。

市長 本市では日照時間が短く太陽光発電は難しいと聞く。技術革新も進むので、関係機関との調査研究、情報提供を行う。

問 丹後コシヒカリが特Aに輝き、京都JAも府内コシヒカリと丹後産コシヒカリを地域別にわけて販売すると聞く。丹後コシヒカリ一等米全体の、農家出荷価格アップのためには品質、数量の供給体制の確立が必要。これに即戦力として役立つ色彩選別機の導入補助事業を制定し、更に丹後コシヒカリ一等米の品質を高めて頂きたいが。

市長 国、府と連携し実施したい。



最新鋭の色彩選別機

公明党 由良尚子

丹後の野菜、販路拡大に向けての支援は

市長 輸送コスト軽減に取り組みたい

問 東北方面への市場開拓状況は。

市長 農協を通じて、東京市場213㍊（売り上げ2700万円）ある。

問 流通の場と人為的配置があればスムーズに拡大できるのでは。

市長 農工商連携で商談会を行っている、一定確保のまとまりが必要との要望もある。仕組み作りを考え、出荷販売も相談にのっていききたい。認知度も上げて、推進していく。販路拡大のため輸送コストも軽減に取り組みたい。

学校防災について

問 東日本大震災から1年たち本市においても、体制を強化し進めていただいていると思うが、学校施設の耐震化の状況は。

市長 今年度末で計画の80%。

問 学校ごとに防災計画の策定は。

市長 策定しているが、子どもたちの防災マニュアルだけである。

問 大災害が発生した場合、地域と学校との連携が必要と考えるが、避難所としての位置付けは。

市長 学校を避難所としての方向で考えたい。

問 要支援者の避難体制は。

市長 災害時要支援者避難策定プランがあり、市・自治区・消防団の役割がある。

問 避難所での、AEDの設置は。

市長 福祉避難所、保育所、学校等35ヶ所に設置。地域避難所においても計画的な整備をしたい。

問 備蓄品で、子ども、老人、女性用品等の物品がないが。

市長 必要な物として考える。

問 防災委員に25人中、女性1人だが女性の視点が必要では。

市長 アウトプットとしても女性の視点は重要、対応していく。



市場開拓前進！

日本共産党 田中邦生

森本工業団地を塩漬けにするな

市長 中長期の経済効果は計り知れない

問 地域循環型経済の視点から、①

旧役場経済へ大きく依存してきた周辺部と小さい集落が取り残され、地域間格差が拡大している。周辺部を寂れさせないとの約束が果たされていない。②このままでは、森本工業団地が塩漬けになる。市長は、当初から希望している企業に出向き、トツ

プ交渉で決着すべきだ。また、緊急景気対策として20万円の住宅リ

フォーム助成制度の実施で、下水道

接続工事を含めて広く仕事を起こす

ことが必要。

市長 限界集落・準限界集落へ水と

みどりの里事業などを行った。格差

問題は、全国共通の課題であり特効

薬はない。財政の余裕がない中で地

域の特殊性を生かし、いろんな取り

組みをすることにつぎる。

森本工業団地は、大きな資産である。26億円かけたが将来に有り余る

効果が期待できる。少なく見積もっても新規雇用3000人で年間賃金が10億円、数年で20数億円が入る。孫

子の代、中長期の経済効果は計り知れない。

住民本位の「ごみ処理行政」を

問 峰山クリーンセンター周辺の住民は、使用期限がきたら協定書通りに、ごみ処理施設はなくなると信じている。

しかし、順守すべき協定書を無視して、使用期間延長の押しつけは重大問題。新施設整備の方針を定めている一般廃棄物処理基本計画からも逸脱している。

市長 集落との確約書と協定書は、使用期間を明記し新施設は設置しないとしているが、期間延長について直接的な扱いについて書かれていない。協定書の重みを踏まえて誠心誠意、期間延長のお願いをしている。



クリーンセンター使用期限は協定の最重要事項

日本共産党 松田 成溪

久美浜病院で人工透析を

市長 真剣に受け止めたい

問 久美浜町では、19名の方が日高まで通院しておられる。通院時間が長く、特に重い方には耐えがたい負担になっている。この人たちの願いは、「久美浜病院で透析を受けたい」ということ。18年来の心からの願いであるが。

市長 ほんとに何とか改善していきたいと思う。久美浜病院と相談しているが、常勤の医師をはじめスタッフの態勢をどう整えていくのかでいつも暗礁に乗り上げる。少しでも改善できないかと市内の病院の体制の充実もお願いしている。真剣に受け止めながらできうる限りの努力をしたい。

問 ヘルパーさんに付き添ってもらわなければ通院できない人がある。このような方への支援ができないか。
市長 どのような支援ができるか、できる限りのことをしたい。

地場産業の振興を

問 地元商店街は弱肉強食の自由競争の中で餌食にされている。市は、もっと支援すべき。市が1億円を出して商工会が商品券を発行したことがあるが、地元の商店街にはなかなか回らない。地元商店こそ支援すべきだが。

市長 我々も必死に支えなくては行けないと思う。今年は、旧商店街・商業団体が、その加盟店限定の共通商品券の発行を予定されている。

問 湊では、昨年からトリガイの養殖に取り組みられており、地域を支える特産品として期待されている。是非成功させるための支援を。

市長 京都府や漁協と協議をし、府の「地域力再生プロジェクト支援交付金」を活用していく準備を進めている。



久美浜病院で人工透析を

日本共産党 森 勝

異常な残業時間が、職員、教員の健康を害しているが

市長 大切な課題であり、改善に努めたい

問 職員、教員の残業、健康問題については、会計監査からも度々指摘されたにも関わらず一向に改善されていない。残業手当も2億円近く支出されている。現状改善のための分析、機構改革、事業の見直しについても検討したのか。

市長 管理職の研修等で検討し、早期退庁、週1回のノー残業日の取り組みもしてきたが、今年は逆に増加した。職員の減員も理由の一つであり、機構、事業の見直しも考える。

問 京丹後市は民間、他市等と比較して、管理職が約3割と異常に多い。民間企業は8人に1人、他市でも15%ぐらいであり、係長制度の確立が必要ではないか。

市長 課長補佐も減員しながらやっているが、今後副市長中心に残業問題を含め改善していく。

問 「名ばかり管理職」とならないよう改善することを強く求める。残業が増えれば、当然職員の健康問題が発生し、有給休暇も取りたくても取

れない状況であると職員は言っているが現状はどうか。

市長 職員の検診の結果は要精検が46・4%、「心の病」による休職が10人、有給の取得率は19%となっている。

教育委員長 教員の異常なものは9%、経過観察39%、治療中2・3%、要精検31%、計72%となっている。有給の取得は、3割未満61%、80%以上の取得は5%で取得したくても取れないのが現状です。

本覚寺さんとの話し合いは

問 土地5筆を市に返還を求め、檀家のほぼ全員の署名を集めて交渉してきた。裁判による解決を考えているが、どうするのか。

市長 現在は話し合いによる解決を望んでおり協議したい。



異常な残業問題は早期に解決を!!

清風クラブ

中村 雅

財政の状況と健全化は

市長 財政健全化の4つの指標上着実に健全化している

問 一般会計と特別会計の借金が833億円と言われているが、財政の状況と健全化について問う。

市長 財政の健全化は、財政健全化法で定められた4つの指標上着実に健全化している。

一般会計の借金は、合併時468億円から415億円。特別会計の借金は、329億円が406億円である。単純に合計して評価するのは適切ではない。特別会計は、独立した会計であるので中長期的にバランスを持って運営することが必要である。

他方、財政の状況は安心できるものではないので、引き続きしっかりとスリム化に努力する。

経営革新度調査結果は

問 第1回経営革新度調査について問う。

市長 全国809市区の中、30番目、近畿では、2番目に位置付けていた。良かった。

原発の再稼働は

問 原発についての今後のあり方、再稼働について問う。

市長 原発は、中長期的に撤退すべきと考えている。再稼働については、今の状況の中では、基本的には反対である。

市道改良工事の進捗は

問 市道下ノ割堂ゴヤ線の改良工事の進捗状況について問う。

市長 地元関係者の皆さまに十分な説明ができていなかったという進め方についての不備があり、繰越事業となる。事務の進め方の検証もを行い、謝罪すべき点は謝罪させていただき、事業を進めていきたい。



拡幅が望まれる市道下ノ割堂ゴヤ線

清風クラブ

行待 実

スポーツ障害予防
事業を行政で教育
委員長

重要な提言、
検討したい

問 震災記念館は昭和17年に府の文化財に指定。また日本建築学会の「近代日本の名建築」に選定されている。

震災の被害者の霊を弔い、震災の教訓と記憶を後世に残し、丹後大震災の復興のシンボルとすべき大切な文化財が今は雨漏りがひどくて使用不可能。早く修理をして復旧すべき。

教育委員長 記念館は重要な施設だが想像以上に老朽化し危険な状態。耐震補強も多額の費用を要し困難。府の指定文化財だが市所有なので府補助金も出ない。修復計画や今後の活用は慎重に検討。

問 スポーツ障害は、小学高学年から中高生の成長期に疲労などが蓄積して発生する慢性的なけが。この時期の子どもには、成長に合わせた適切なケアが重要で、早期発見と治療はスポーツを継続する子ども達には、将来の大切な問題。市内では、昨年から民間組織で少年野球を対象に障害予防事業を実施しているが、この事業は多額の事業費が必要。政策的

に行政が行うべき。

教育委員長 予防活動の取り組みは子どもの健全な成長に重要。全てのスポーツ教室を対象に、行政として何が出来るか検討したい。

問 工業団地は雇用機会が低迷する中、時節にあった政策として市民の大きな期待と支持を受け竣工した。しかし1年半経った今日においてまだ1社の企業立地もなく、行政に責任を問う市民の厳しい批判の声が聞こえる。1日でも早い造成効果が求められるが。

市長 団地は市の将来の経済発展のための産業基盤であり後世に残る大きな財産。立地により造成費用をはるかに超えた経済効果を半永久的に得る。企業訪問等を活発に行い職員一丸となって頑張る。



老朽化が進む震災記念館

丹政会 足達昌久

海浜ごみを出さない 抜本的な対策を!!

市長 問題意識を持って
対応したい

問 私は、世界ジオパークに認定されている本市の海浜を、1月と3月の2回、久美浜町蒲井から丹後町袖志まで視察した。冬場のことでもあり、かなりの漂着ごみの堆積や散乱が確認された。漂着ごみ対策事業への取り組みは。

市長 市と府の管理海岸として連携して取り組んでいる。市の管理海岸は国の補助を受けて、府の管理海岸は府より委託を受けて市が実施している。年間総事業費は、8036万円となっている。

問 海浜漂着物対策は、回収処理だけでは抜本的解決にならない。

発生抑制することも重要。本市が積極的に音頭をとり、日本海沿岸全域自治体とも協力連携して国の外交を通じて、沿岸諸国、特に韓国、中国、ロシア等に対し海岸ごみを出さない対策を講じるよう強く要請するなど、本気で取り組んではどうか。

市長 問題意識を持ってしっかりと対応していきたい。

幸福政策の追求をすべし

問 行政は、あらゆる機会に市民と対話し、声を聞き取り、市民生活の実態を理解することで、より市民との意識の共有が図れる。そのことは、市民の市づくりへの参加意識を高めることにつながる。行政は市民が、もっと幸福を感じられるような「住んでよし」の市づくりに視点を置き、幸福政策を追求するべきでは。

市長 様々な豊かさ、幸福というものを物質的な面に限らず、精神的、文化的、健康的な面や人と人の絆の関係から生まれる幸福、喜びもある。総合的に勘案しながら具体的に市づくりの中に、正面に据えて政策をしていくことが大切。



海浜漂流・漂着ごみの抜本的な対策が望まれる

無党派 吉岡豊和

なぜ液肥全量が 1万トになるのか

市長 受入原料の固形分の
割合が減ったため

問 エコエネルギーセンターを最後の質問に選んだのは、市長の政治姿勢をよく表しているからである。NEDOから施設の無償譲渡を受け、エコエネルギーセンターを設置する

までは、市長の意気込みには執念的なものを感じた。しかし、目的を達成すると、その後の意気込みが続かないように思える。

市長 現状で経済効果は、賃金、液肥散布の手間賃で約3500万円、事業効果は散布車、運搬車食用カンナ研究施設などで、約4300万円、バイオマスタウン構想の目標値については、家庭生ごみの資源化が14トで達成できていない。

市長 達成率が低い原因は何故か。アミタが実施する事業について

では、事業展開の見込みがたっていない。

問 液肥全量(1万ト)の変更に
ついて地元で説明がないが。

市長 変更について精査している途中であり、後日説明に行く。

排雪をしやすく

問 河川敷でなく、河川へ直接雪を捨てるように出来ないか。

市長 府に、早期の段階で排雪場所の確保を要望している。

今年の経験を活かしてしっかりと対応していきたい。

問 除雪委託業者の確保は。

市長 運転手の確保が難しい、いろいろな業種の方をお願いをして確保していきたい。



液肥の利用目標達成なるか

陳 情 (4件)

◆久美浜町河梨区の大カング 開発に関する陳情書

〔陳情事項〕

- ・「道の駅」に類似したみやげ物店及び地元野菜販売店の建設
- ・ミニポートピアの建設

〔陳情者〕

大カング開発委員長 田中 信
河梨区長 北垣 耕太郎
〔採択〕

陳情の採決に際し、^{※1}少数意見が留保されました。

少数意見の内容

- ・学校教育における問題、観光等への影響が懸念される。
 - ・博打産業であるがゆえに、市民生活への影響が計り知れない。
 - ・治安の低下につながりかねない以上のことから、京丹後市にはふさわしくないものであり反対する。
- また、陳情にある雇用確保の面については、市が困難な地域を支援する施策をするべきである。

◆ポートピア建設に反対する 陳情書

〔陳情事項〕

- ・京丹後市内に「ポート場外チケット発売施設」(ポートピア)を建設しないように

〔陳情者〕

井谷 實夫
〔^{※2}みなし不採択〕

◆介護保険料の負担軽減と介護 保険制度の充実を求める 陳情

〔陳情者〕

丹後社会保障推進協議会
議長 安田 美晴
〔不採択〕

◆消費税10%へのアップと社 会保障の切捨て中止を求め る陳情

〔陳情者〕

丹後民主商工会
代表者 源 進一 他20名
〔不採択〕

※1少数意見の留保：多数決において少数であった意見を保持すること。
※2みなし不採択：内容が反対の議案・請願等が採択されている場合に不採択とみなすもの。

議 会 会 議 規 則 の 改 正

「政策討論会議」を議会会議規則の 協議又は調整の場に追加設置

「政策討論会議」は、議員全員間での政策討論を行い、政策立案や執行機関に政策提言を行っていく会議。

次回の「市民と議会の懇談会」について

3月定例会の議会報告を兼ねた「市民と議会の懇談会」につきましては、京丹後市議会議員一般選挙後の6月定例会の議会報告とあわせて開催する予定としております。日程や会場が決まりましたら、「市議会だより」や「きょうたんごおしらせ版」などでお知らせいたしますので、ご理解願います。

2月15日・16日開催分

市民と議会の懇談会

まとめとご意見・ご提言とその回答

主な内容

・9月から11月の議会活動
・12月定例議会の審議内容
懇談テーマ
「議会と議員に望むこと」

懇談会における参加者の意見などで、市に対するものは市に伝え、その回答をここに掲載させていただきますが、詳しくは、各市民局に閲覧資料として備え付けるとともに、議会ホームページの「市民と議会の懇談会」で公開しておりますのでご覧ください。

市長部局の回答

問 ケーブルテレビの加入率を上げるべきである。テレビの内容も充実してほしいし、議会の一般質問なども録画放送してほしい。

答 現在の加入率は約50%ですが、自主放送番組の充実によって、加入者の増加を図っていきます。平成24年度

では、市が制作委託する自主放送番組数の増加、字幕放送の導入による災害やイベントなど緊急・臨時での情報提供のほか、市議会の録画放送も行っていく予定です。



丹後町の懇談会場

問 定住促進の強化が必要であるし、また、空き家対策の施策が必要。別荘として買われた家が放置状態である。持ち主の連絡先も分からないし、行政として何か手立てはないのか。

答 市では、雇用の場の確保、定住の基軸となる生活環境整備事業など、引き続き積極的

に取り組み、住みよいまちづくりを推進したいと考えています。空き家については、定住対策として活用できるものについて、調査を行うなど検討していきたいと考えています。

問 森本工業団地の経緯と現状を教えてください。また、工業団地造成について、住民の意見を聞くとか、住民投票はできなかったか。工業団地の区画をセ

答 平成18年、市内企業約70社を訪問し、今後の方向性等についてお聞きする中、森本地区に新たな工業団地の造成を決定しました。同年11月から事業着手し、平成22年11月に竣工、現在、企業への訪問等、誘致活動を実施

しているところです。工業団地の造成にあたっては、効果的な整備を行うため「セミオーダー方式」としましたが、これは造成工事に伴って、立地希望企業との間で何らかの契約行為が発生するものではありません。

問 宇川から弥栄病院に行くとなると間人で乗り換えしなければならなくて400円となり、往復で800円かかる。鞍内などバスを通っていない集落も多く、丹海バス停のところまで小型バスを走らせてもらいたい。

答 路線バスの乗り継ぎは、引き続き丹海バスに要望を行います。また、宇川地域における小型バスを含めた市営バスの運行は、他市の事例も研究するなど他の様々な手法や地域の実情に即した最適な

運行方法について、引き続き検討を行う必要があると考えています。

問 自衛隊への地元の協力実態を考えると、基地交付金を地元へ還元すべきではないのか。

答 基地交付金は、自衛隊等の施設がある市町村に対して、固定資産税の代替的性格を基本とした、使途の制限のない一般財源として交付されているもので、一般的な迷惑施設に対する交付金とは異なるため、地元への還元は困難と考えています。



久美浜町の懇談会場

市民の声



赤とんぼコンサート



久美浜町甲山
平林 伊都子



安養寺での赤とんぼコンサート

「なんと感性に啓かれた刻だったことでしょう。呼吸する木に包まれますと楽器はひとりで対話を始めるのですね。時間が重なるにつれ、クライマックスにもかかわらず、楽器は「もつと奏でていたい」衝動にあつたようです。」

アンコールでは、倍音の限りがそう語りかけてきました。

赤とんぼコンサート出演の松野迅さんより届いたお手紙の一部です。平成10年度久美浜小中学校PTA役員の有志で組織しました赤とんぼコンサート実行委員会。お蔭様で8回のコンサートをさせて頂きました。現役の年に、子どもたちに気楽にクラシックを。

赤とんぼコンサートは、この町が大好きです。田舎は芸術、文化の面でも都会と比べ情報機会にハンディがあります。しかし、大きなコンサートホールがないかわりに、白砂青松素敵な自然、荘厳なお

寺の本堂、境内など、文化財がたくさんあります。これらと素敵な音楽との融合で、生の音楽を眼と心で聴き感じてもらえたらと思っています。今まで皆さまのおかげで継続できたこと、本当に感謝申し上げます。アンケートにもそれを望む意見をたくさん頂戴しております。今後の課題として、そのためには若い人たちに熱い思いを伝承していくことが必要だと痛感しております。私たちの想いを受け止めて継続していつて下さる若い人たちが増えることを祈念しております。いい音楽を聴き、いい芸術に触



久美浜公園での赤とんぼコンサート

れ、感性豊かな心の持ち主がいい町をつくっていくのでしょうか。この町に若者が定住して活気あるまちづくりをしてくれるためには、雇用の問題に加えて、若者がわくわくドキドキするような楽しいイベントの恒例化も必要不可欠ではないでしょうか。赤とんぼがその一助となることを夢みつつ、皆さまに感謝して筆を置きます。

あとがき

京丹後市が発足してから8年。市の経済、市民のくらしは大変きびしい状況になっていきます。

私たちは、この間、市民のみなさんの声を市政に反映すべく、「市民と議会の懇談会」を開催するなど「議会改革」にも努めてまいりました。

しかしながら、まだ道半ばと考えています。

市政の発展と真の「議会改革」は市民のみなさんが「住民こそ主人公」の立場で市政に積極的に参加していただくことが重要と考えています。

新たな市長、議会のもとでの京丹後市の発展を心から願って、今期最後のあとがきとさせていただきます。

◎広報編集委員会

- 委員長 松本 聖司
- 副委員長 中村 雅
- 委員 大下倉禎介
- 田中 邦生
- 中西 定征
- 森 勝
- 吉岡 豊和